



ハエの駆除対策を実施しましょう！

畜産農家にとって、ハエ対策は重要です。ハエは、人間や家畜に対して不快感を与えるだけでなく、様々な病原体を媒介します。そこで今回は、ハエ対策についてお話しします。

1 ハエの発生源

畜舎周囲、堆肥舎のすみ、尿だめなどが発生しやすい場所です。まず、発生源をつきとめましょう。

2 ハエの生活

- ・ハエは8～15日で卵から成虫になります。
- ・成虫になると5日で産卵を開始し、1回に50～150個の卵を生みます。
- ・一生の間に500個以上の産卵を繰り返します。



3 環境整備による対策

ハエの発生源となる糞を早期に除去し、適切な堆肥化により発生量を減らすことができます。

ハエの卵は、温度40℃以上で孵化以前に死亡し、水分50%以下で孵化率が激減します。

堆肥は十分に切り返しを行うことで、発酵熱と乾燥でウジを殺すことが可能です。

4 殺虫剤使用による対策

殺虫剤を使用してハエを殺す方法です。ハエの生活環に合わせた殺虫剤や散布方法を選んで効果的に使用しましょう。

使用のポイント

- ① 目的にあった殺虫剤を選ぶ（ウジか成虫か）。
- ② 正しい濃度で使用する。
- ③ 十分な量を均一に散布（噴霧）する。
- ④ 同じ殺虫剤を長期間繰り返し使用しない。(2種類の殺虫剤を間隔を空けて交互に使用)。

(1) 散布法

発生源に薬剤を散布する方法です。最も効果が高いのが脱皮阻害剤で、発生源に噴霧し、この薬剤をウジが食べることで成虫になることができなくなります。



(2) 残留噴霧法

残留効果のある薬剤をハエの止まる畜舎壁や柱に散布し、ハエを殺す方法です。

(3) 空中散布法

散布剤をハエに直接かかるように噴霧し、ハエを殺す方法です。

(4) 誘引殺虫法

殺虫剤とハエが好む砂糖や果汁を混合した毒餌によりハエを誘引し、殺虫します。

この方法は、家畜、犬、猫などが誤って毒餌を食べないように注意が必要です。

<以下に、殺虫剤を紹介します。>

ウジ用

	カーバメイト剤	有機リン剤	脱皮阻害剤	オルソ剤
商品名	サンマコー ボルホ散	トヨダン ネグホン など	デミリン ネポレックス ヨモベット など	ネオクレハゾール タナベゾール など
特徴	・即効性で効果高い ・残効性がない ・高価である ・人に毒性がある	・即効性で効果高い ・耐性ができやすい ・家畜や人に毒性がある	・効果が非常に高い ・散布しやすい ・家畜に安全	・安価で取り扱いが簡単 ・臭いが強い
使用方法	粉末のまま散布	水に希釈し散布	水に希釈し噴霧	水に希釈し噴霧

成虫用

	ピレスロイド剤	有機リン剤	その他
商品名	バイオフライ ETB など	アルファクロン	スミスリン乳剤 スパレミン乳剤
特徴	・非常に即効性がある ・効果がでない場合もある	・残効性がある ・家畜や人に毒性がある	
使用方法	水に希釈し虫体に噴霧	水に希釈、毒餌に使用	水に希釈し噴霧

殺虫剤は、大量に使用すると人・家畜への被害、自然環境へ影響を与えるおそれがあります。使用には、十分ご注意ください。

5 地域で共同駆除をしましょう

ハエは飛翔能力が高く、個々の農場で駆除するより、地域で一斉に実施するとより大きな効果があります。是非、地域で取り組んでください。